

平成27年度 第3回安芸高田市いじめ問題対策委員会 会議録

開催日時：平成28年3月8日（火）午後2時～3時30分

開催場所：クリスタルアージュ3階 視聴覚室

委員等の出席状況

委員等の出席状況	
出席委員	(敬称略) 坪田 雄二 公立大学法人県立広島大学 教授 重本 久美榮 臨床心理士 田邊 介三 安芸高田市 PTA 連合会 会長 土井 実貴男 安芸高田市総務部総務課 課長 青山 勝 安芸高田市危機管理課 課長 野川 栄治 安芸高田市市民部人権多文化共生推進課 課長 佐々木 幸浩 安芸高田市福祉保健部社会福祉課 課長 久城 祐二 安芸高田市福祉保健部子育て支援課児童福祉係 係長 (岩崎 猛課長代理) 坂本 克義 安芸高田市立小中学校教頭会 副会長 井上 佳代 安芸高田市立小中学校教頭会 会長 中井 純子 安芸高田市適応指導教室 所長 松原 美和子 安芸高田市家庭教育支援員
出席した 事務局職員	永井 初男 安芸高田市教育委員会 教育長（開会あいさつ後に退席） 叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会事務局 教育次長 児玉 晃 安芸高田市教育委員会事務局 学校教育課長 宮地 嗣 安芸高田市教育委員会事務局 学校教育課学校教育指導係 主任指導主事
傍聴者	なし

会議日程及び配布資料

○開会

1. 教育長あいさつ
2. 委員長あいさつ

○日程第1 報告

1. 平成27年度の生徒指導上の諸問題の状況について

○日程第2 協議

1. 平成27年度のいじめ事案について（平成27年度 4月～3月）
2. 今後の対策等について

○日程第3 その他

○閉会

1. 副会長あいさつ

—配布資料—

- ・平成27年度 いじめ問題の概要と取組について
- ・安芸高田市内小中学校における生徒指導上の諸問題について
- ・安芸高田市立吉田小学校生徒指導規程
- ・「平成27年度のいじめ事案について」に関する資料（会議終了後回収）

会 議 概 要

教育長あいさつ

本日は、第3回の平成27年度安芸高田市いじめ問題対策委員会のご案内をさせていただいたところ、委員の皆様方にはご多用の中ご出席いただきまして、感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

本年度も残すところあとわずかとなり、児童生徒は卒業式や修了式を迎える時期となりました。本年度の一年間を振り返ってみますと、命に関わるような重大な事件には至らなかったものの、暴力行為やいじめ、不登校など生徒指導上の諸問題は一定の件数が生じております。特に、いじめの事案については、これまで2回の委員会で皆様方にご報告し、ご意見をいただきながら、事案の解決、また未然防止の取組を進めてまいりました。

本年度の傾向としましては、小学校では、暴力行為・いじめ・不登校のいずれにおいても減少傾向にあり、落ち着いてきました。中学校では、いじめ・不登校は減少していますが、その一方で暴力行為が増加しています。この暴力行為に伴って学校全体が不安定となり、さらに別の問題を引き起こすという負の連鎖も見られ、その中には、ネットいじめも生じました。

さて、このような生徒指導上の諸問題を解決していくためには、事案ごとに適切に対応していくことも重要ですが、日頃からの未然防止の取組が重要であると考えています。一口で言えば、活気がある一方で落ち着きのある学校、規律と礼節の心がある学校、子供たちや先生方との間に触れ合いのある学校にしていきたいと思えます。

そのために、特に次の三つの視点をもって指導にあたることを基本に据えて、各学校現場で取組を進めてまいりました。

- 一つ目は、学習活動の中で、自分で考え自分で決めることができる「自己決定」の場を意図的につくることです。
- 二つ目は、集団の中の一員として自分の居場所がある、「自己存在感」があると感じられるようにすることです。
- 三つ目は、相手の行動を自分に置き換えて考え理解し合う「共感的な人間関係」をつくっていくことです。

この「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」の三つを「生徒指導の三機能」と呼び、日々の授業やあらゆる教育活動の場でこれらが機能するよう取り組んでいます。本年度、これにより、大きな成果をあげた学校も見られます。

このあと、事務局よりいくつかの事案の報告とともに、本年度の振り返りをいたしますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

安芸高田市としましては、今後とも、関係機関、関係団体と緊密な連絡をとりながら緊張感を持っていじめの問題に取り組んでまいりますので、これまで同様、ご協力を賜りますようお願いをさせていただき、開会の挨拶といたします。

(この後、退席)

委員長あいさつ

本日は、第3回目ということで、本年度最後の委員会となります。今回は、第2回目の委員会以降に発生したいじめの事案について報告していただくとともに、今年一年間を振り返ってまとめをしていただくことになっております。

その中で、いじめの「解消」の定義について、前回いろいろと議論がありました。被害を受けた児童生徒に対するいじめが見られなくなった後も、加害側の児童生徒の方を見ると、対象を変えて再発しているということがあり、いじめの「解消」の定義をどうするかということについて、前回色々議論がありました。今回、このことも含めてご意見いただければと思いますので、よろしくお願いします。

委員長	まず、日程第1「報告」ということで、「平成27年度の生徒指導上の諸問題の状況について」事務局からお願いします。
事務局	それでは、お手元の資料2と書いているものをご覧ください。 本年度生起いたしました生徒指導上の諸問題ということで、暴力行為、いじめ、不登校につ

	<p>いての発生状況について簡単ではございますが、ご報告いたします。</p> <p>平成 27 年度の本市における小中学校児童生徒の問題行動等は、平成 26 年度と比較しますと、暴力行為は 5 件増加しています。いじめの認知件数は 1 件減少、不登校児童生徒数は 7 人減少となっています。いじめの認知件数と不登校児童生徒は減少したものの、暴力行為が増加しています。</p> <p>これを小中学校別に昨年度と比較しますと、暴力行為は小学校で 3 件減少し、中学校では 8 件増加しております。いじめの認知件数につきましては、小学校では増減なし、中学校で 1 件減少となっています。不登校児童生徒数は、小学校が 6 人減少し、中学校では 1 人減少しております。</p> <p>先ほど、教育長からも話がありましたが、小学校では昨年度、一昨年度と特定の小学校におきまして暴力行為が頻発するという問題がありました。取組を進めた結果、この学校における暴力件数は 0 となっております。今年度は全く起きておりません。小学校で 3 件起きていますが、これは別の学校で起きたものです。</p> <p>一方、中学校の方では、暴力行為が特定の学校で繰り返して起きることがありました。このことにつきましては、第 1 回、第 2 回とこの場でも少し触れさせていただいたと思えますけれども、現在は一定の取組の中で暴力行為については止まっている状況となっております。</p> <p>以上、簡単ではございますが報告します。</p>
委員長	<p>何かご質問・ご意見等ありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、続きまして日程第 2 「協議」「平成 27 年度のいじめ事案について」です。</p>
<p>《秘密会のため「日程第 3」の会議録は省略》</p>	
委員長	<p>日程第 3 「その他」をお願いします。</p>
事務局	<p>本年度第 3 回、最後の会議ということで、熱心に色々ご意見をいただきましてありがとうございます。来年度につきましては、人事異動あるいは役員の交代ということで委員が変わる場合があるかと思いますが、委員が変わられた際には、お持ちの資料を新しい委員の方にお渡しいただきますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、第 3 回安芸高田市いじめ問題対策委員会を以上で終わりたいと思います。最後に、副委員長に閉会のあいさつをお願いします。</p>
<p>副委員長あいさつ</p> <p>本日は、今年度最後の会ということで、熱心にご協議をいただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>とりわけ、前回の委員会から以降のいじめの事案につきましては、ほぼ「解消」ということになっています。今年度 17 件という数字が多いのか、少ないのかということはあると思いますが、データを基に今後の取組を明らかにすることは、とても大事なことで個人的には思っております。</p> <p>今日は、「ネット（いじめ）」の話も出ましたが、社会の変化の中ででてきた問題です。学校現場でも取組をいただいておりますが、いろいろな機関と連携しながら、より効果的な啓発や取組を進めていくことが出来ればよいと思います。</p> <p>私も昨年度まで学校現場にいました。安芸高田市は、市内の学校が関係機関と連携、協力して色々な取組をしているということが大きな特徴であると思っております。いじめ問題についても、学校現場が様々な関係機関に協力を仰ぎながら事案が 0 になることを願っています。本日は大変ありがとうございました。</p>	